

ぎかいの木

CONTENTS

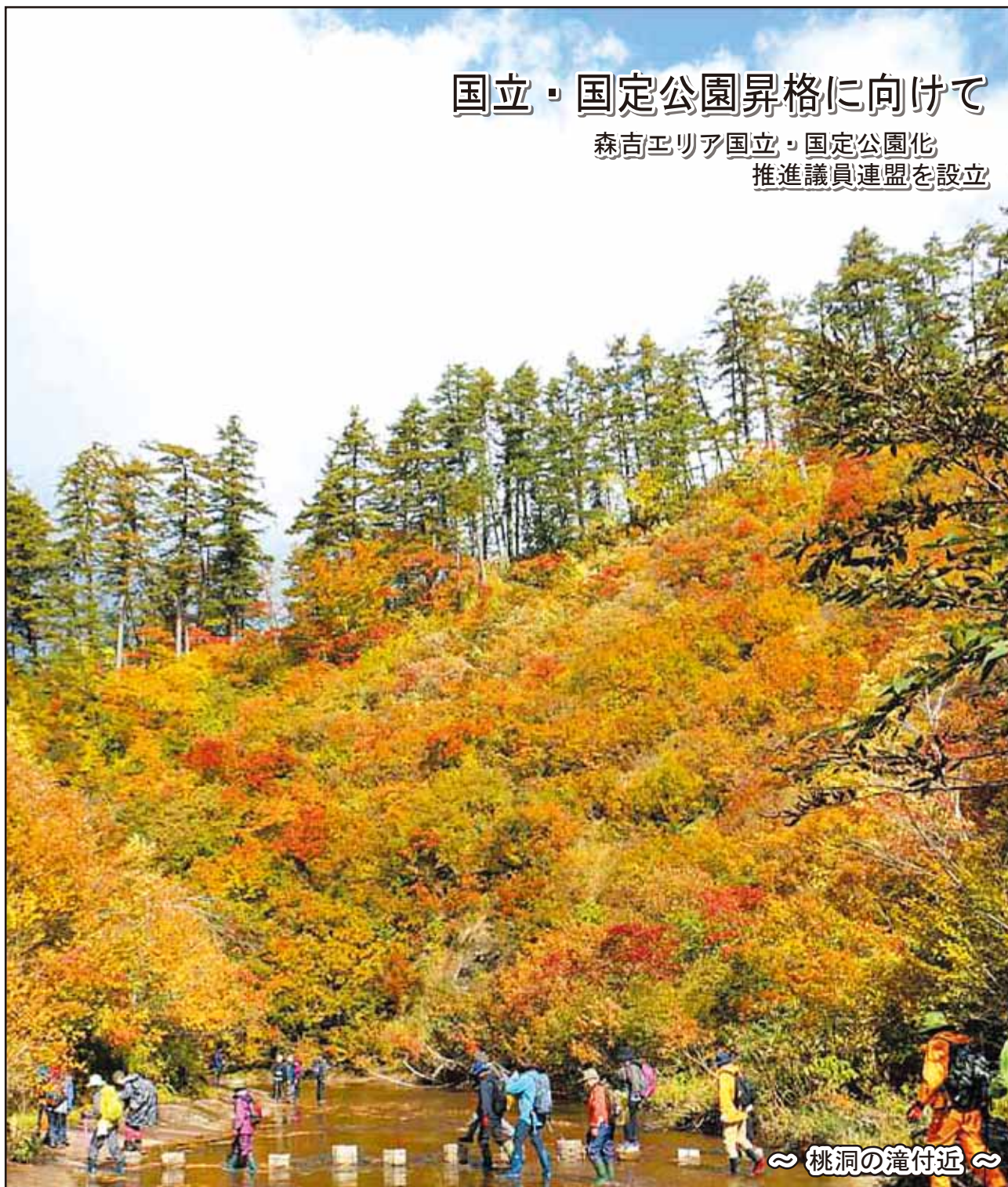
9月定例会の審議……………P2～3
常任委員会審査報告……………P4～5
決算特別委員会……………P6～7
一般質問……………P8～12
所管事務調査報告……………P13
議会報告会のお知らせ……………P14
議会のうごき……………P14

NO.80 令和5年11月1日号

9月定例会などの内容をお伝えします。

国立・国定公園昇格に向けて

森吉エリア国立・国定公園化
推進議員連盟を設立



～ 桃洞の滝付近 ～



起立採決（認定第1号 令和4年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について）

令和5年
9月定例会

令和5年度一般会計予算

災害関連補正予算など

14億2857万円を追加

9月定例会は、9月5日から9月29日までの25日間の会期で行われました。

今定例会では、承認1件、条例案6件、補正予算案5件、単行議案2件、認定20件について審議し、いずれも可決及び認定としました。

また、最終日には、追加提案として北秋田市栄財産区管理委員の選任や人権擁護委員候補者の推薦について、議員発議では、森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出に関する発議案が提出され、いずれも同意及び可決としました。

※令和4年度各会計決算の審査内容は6・7ページに掲載しています。

9月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



▼令和5年度一般会計補正予算
今定例会に上程された令和5年度一般会計補正予算は、14億2857万円を追加し、総額は247億9922万9千円となりました。
主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
秋田内陸線災害復旧支援事業	3,100千円
北秋田市地域生活支援拠点整備費補助金	30,725千円
除雪対策事業	62,047千円
住宅リフォーム支援事業	10,000千円
旧阿仁中学校体育館改修事業	2,761千円
その他公共施設公用施設災害復旧事業	24,091千円

9月定例会の主な議事

○専決処分の承認を求めることについて（令和5年度一般会計補正予算）

○北秋田市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○北秋田市営スキー場条例の一部を改正する条例の制定について

○令和5年度一般会計補正予算（第5号・第6号）

○令和5年度介護保険特別会計補正予算

○令和4年度各会計決算の認定（20会計）

○北秋田市米財産区管理委員の選任

○人権擁護委員候補者の推薦

賛成・反対討論

▼議案第76号

賛成討論 虻川 敬 議員

使用料上限を上げても使用料が急激に上がることは考えにくい。近頃の物価高騰のなか、価格決定に対して自由幅がないと運営に支障が出る可能性がある。指定管理者泣かせになることは避けるべき。

反対討論 板垣 淳 議員

スキー場のリフト・ゴンドラ料金の値上げは市民や利用客が困るので反対。※財政調整基金68億円のごく一部を使うだけで値上げしなくてもしっかり運営できる。

賛成討論 五代儀義富 議員

当案件はレジャー施設に係るもので生活防衛に必須の案件とは異なるものと考え。また、物価高騰沈静化の折には、改めて利用料の適正化に取り組みとされていることから賛成する。

反対討論 福岡由巳 議員

政府は指定管理者制度を随時検証するよう指摘している。今回の燃料や電気料高騰は全体に関わる問題で、その検討がないなかで個別に市民負担を強いる引き上げは拙速である。

賛成討論 佐々木正史 議員

本件が否決された場合、スキー場の来シーズンに向けた営業活動に多大な遅れや支障をきたすことになり、委託先の足を引っ張ることになるため、議員各位には紳士的な対応を求める。

▼認定第1号

反対討論 久留嶋範子 議員

市民の暮らし、地域経済が疲弊しているなかで今年度の基金の残高は68億円と最高額。貯めるだけでなく有効に使うべき。敬老式も今年度から廃止。何のための総括か。

反対討論 福岡由巳 議員

当局は「財政が厳しい」と述べ、各種イベントや敬老式等の一律削減が行われ、市民につけを回している。行政改革大綱に掲げる「市民サービスの向上・充実」に努めるべきである。

▼認定第18号

反対討論 福岡由巳 議員

毎年、救急患者が増加し令和4年度は6398人である。この診療、特に土日祝日や休日の時間外の常勤医・嘱託医の負担は大きい。働き方改革からも更なる常勤医の増員を。

反対討論 三浦倫美 議員

令和4年度の経営改善への接遇向上、医師確保等の取組みは例年同様で、毎年、市が多額の資金を支出している。慢性的な経営状態を脱する動きになっておらず、連携強化が必要である。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 採決結果	採決結果	清明会					新創会			日本共産党 議員団		公明党	無党派					
		小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	虻川 敬	杉刈 一弘	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋範子	福田 牧子	福岡 由巳	五代儀義富
【令和5年9月定例会／令和5年9月29日採決】		※議長は採決には加わりません。																
議案第76号 北秋田市営スキー場条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	●	○
認定第1号 令和4年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	▼	○	○	○	●	●	●	○	●	○
認定第18号 令和4年度北秋田市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	-	○	○	▼	○	○	○	●	●	●	○	●	○

※財政調整基金

年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金

総務文教常任委員会 市営スキースキー場条例賛成少数で否決

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】福田牧子／堀部 壽／板垣 淳／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案3件、予算案2件、単行議案1件の計7件でした。

北秋田市営スキースキー場条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「現在定めている上限額にまだ余裕がある状態で上げるとはおかしいのでは」との質疑があり、当局からは「前回、料金改定を行ったのが令和元年であり、今回は電気料や燃料費高騰により運営等に支障が生じる恐れがあることから提案した」との答弁があり、また、委員から「すべての経費が値上がりするなか、リフトとゴンドラ料金で賄うことが正しいのか。指定管理料を含めた全体的な収支でみるべきでは」との質疑があり、当局からは「利用料は時価に合わせ変動する部分があると考え。利用料を確保し、指定管理者が経営努力を発揮しやすいよう上限額を確保したい」との答弁がありました。

以上のような審査の結果、意見の一致をみる事ができず、討論を踏まえ、賛成少数

により、原案を否決すべきものと決しました。

令和5年度一般会計補正予算の財務部財政課の審査では、委員から「地方債が変更、追加になった部分に対し、何年の償還でどれくらいか、また、利率になっているのか、また、事業を行う上で、財政調整基金を上手に活用し、地方債で発生する金利を減らし、財政負担を減少させるべきでは」との質疑があり、当局からは「償還等について借入先は未定であり、財政調整基金等の活用も検討して進めたい」との答弁がありました。

(委員長 小笠原 寿)



物価高騰により運営を圧迫

市民福祉常任委員会 地域生活支援拠点建設へ

【委員長】佐藤重光 【副委員長】三浦倫美 【委員】虻川 敬／佐々木正史／中嶋洋子

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案3件の計5件でした。

令和5年度一般会計補正予算では、「地域生活支援拠点整備事業」について、委員から「施設は合川庁舎の隣に建設予定であるが、利用者や地域の方々との意見交換の場も持たれているか」との質疑があり、当局からは「関係者に対し、8月4日に説明会を開催した。今後もサービスクラス等について協議を重ねていく。また、合川駅前自治会と役員及び合川地区会長会の4地区の会長に対し、8月8日に事業説明を行った」との答弁がありました。また、「北秋田市保育体制強化事業補助金」について、委員から「この補助金が該当する基準は」との質疑に対し、当局からは「保育士の資格を持っていない保育補助的作業にあたる方、清掃、消毒などのようにスポット支援員として配置された方が該当する」との答弁がありました。また、「ごみ収集運搬業務委託」について、委員から「今までの契約期間は3

年間でこれからは5年間となった。業務委託に關してはあつる程度長い期間で委託すべきと考えるが、このような委託業務で、今後契約期間を長くしたほうがよい業務はあるか」との質疑があり、当局からは「今、委託期間が3年というのが火葬場等なので、そういう有効性などを事業者とお話ししながら、なるべく長くという表現になるが提案していく」との答弁がありました。

(委員長 佐藤重光)



合川に地域生活支援拠点を建設へ

産業建設常任委員会

農業用施設災害復旧は予備費で

[委員長] 杉淵一弘 [副委員長] 松橋久敏 [委員] 永井昌孝 / 福岡由巳 / 久留嶋範子 / 長崎克彦

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案1件、予算案3件、単行議案1件の計6件でした。

専決処分の承認を求めることについて、農林課関連では、委員から「林業施設災害復旧費において、作業用機械借上料を計上しているが、農業用施設災害復旧費では作業用機械の借上げは予定していないものか」との質疑に、当局からは「農業用では予定していないが、災害発生直後に予備費を充用し、水路や用水の確保のために緊急支援として、重機やポンプ、発電機の借上げを実施している」との答弁がありました。

令和5年度北秋田市一般会計補正予算の商工観光課関連では、委員から「日本テレワーク協会負担金について、成功報酬とのことであるが、何件分を想定しているか」との質疑に、当局からは「企業とのマッチングを図るためのもので何件ということではない」との答弁がありました。

都市計画課関連では、委員から「住宅リフォーム支援事業

補助金について、今後の追加の考えはあるか」との質疑に、当局からは「冬になると申請件数が少なくなるため補正は行わない考えである」との答弁がありました。

単行議案の工事の委託に関する契約の締結について（三両橋架替工事委託）は、委員から「契約業者は市の登録業者になつていくか」との質疑に、当局からは「登録業者ではないが、N・T・T通信設備の防護や通信障害の対応、橋梁架替工事を同時に施工可能な唯一の会社であるため選定した」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 杉淵一弘)



緊急支援での重機対応



閉会中の所管事務調査 委員長報告 (抜粋)

総務文教常任委員会

8月10日に『空き家対策について』の調査を実施しました。

現状説明では認定件数とその推移に加え、危険度に応じてレベルA～Cへと区分され、さらに苦情や相談ごとに「雪・風・環境・老朽」と分類されていることや「特定空き家」認定までの流れ、その判断基準等についての説明を受けました。市から空き家相談会の開催予定が示される一方で、委員からは解体費用の実績や「住宅用地特例」の解説等、家屋を解体する場合の固定資産税の推移についても紹介したらどうか等の意見も出され、市から実態に合わせて対策計画を検討するとの答弁がありました。(文責者：副委員長 五代儀義富)

市民福祉常任委員会

8月7日に『こども課について』の調査を実施しました。

こども課は、こども行政の総合的なワンストップ窓口として、子ども応援係と子育てあんしん係の2係体制で「出生数100人を超えること」を目標に、市の関係部署や関係団体との連携強化を図り、官民一体となった取り組みを働きかけていくとの説明を受けました。委員から「放課後児童クラブの夏休みなどの昼食提供の考えは」との質疑に、当局から「市内広範囲で実施するには昼食を提供できる事業者の協力が不可欠であり、利用料も含め、総合的な検討が必要になる」との答弁がありました。(文責者：副委員長 三浦倫美)

産業建設常任委員会

8月22日に『保育園留学を活用した親子型ワーケーション』と『市営住宅』について調査しました。

保育園留学を活用した親子型ワーケーションは、地域活性・長期的な関係経済人口の創出拡大を目的に企業と地域事業者、自治体が連携した事業で、令和5年度中に全国で35拠点がオープン予定。秋田県内では北秋田市が先駆けて取り組む予定で、留学希望者を募集中であるとの説明でした。

市営住宅は、今年度建替え中の阿仁地区東裏団地3棟6戸の現場を視察しました。1棟の建築面積は141㎡、それぞれ1LDKの高齢者にも配慮した仕様でした。(文責者：副委員長 松橋久敏)

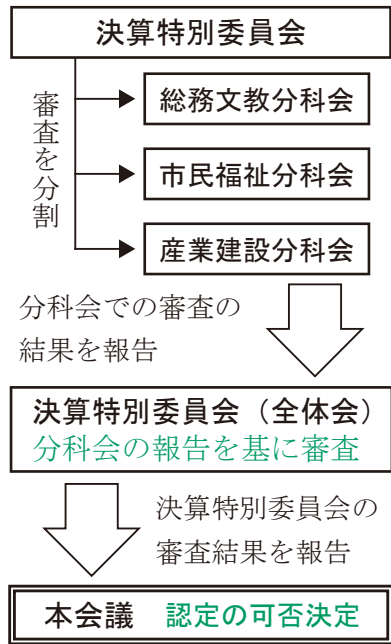
決算特別委員会

令和4年度 各会計決算を審査

今定例会には令和4年度各会計決算の認定20件が提出されました。

議会では、広範囲に及ぶ決算審査を専門的かつ効率的に行うため、9月5日の本会議において、議長と議会選出監査委員を除く16人の議員を委員とした決算特別委員会を設置しました。

審査の流れ



9月5日に委員会を開催
委員長に長崎克彦委員

9月5日に決算特別委員会を開催し、委員長と副委員長を互選したほか、より詳細な審査を行うため、審査は常任委員会を分科会として位置付けた「分科会方式」で行うこととし、分科会委員長は各常任委員長が務めることに決定しました。

〔委員長〕 長崎 克彦
〔副委員長〕 久留嶋 範子
〔分科会委員長〕
総務文教 小笠原 寿
市民福祉 佐藤 重光
産業建設 杉淵 一弘

各分科会の審査の中で出された質疑及び答弁を要約してお伝えします。

総務文教分科会

〔委員〕 ふるさと納税寄附金が約14億4千万となった。寄附額は増加となったが件数は減少している。今後の対策・戦略をどのように考えているか。

〔答弁〕 現在、米の定期便が好評で寄附額が増加している状況。寄附者に対しては、お礼状を含め丁寧な対応を行い、リピートして頂くよう取り組んでいきたい。また、新たな返礼品については、生産事業者等と協力した返礼品の拡充やレジャー・サービスの企画などといった体験型の返礼品の開発も行っていきたい。

〔委員〕 指定管理施設へ「燃料費等高騰対策交付金」として補助したが算定基準は。また、それ以上の対応については。

〔答弁〕 市の燃料費契約単価が



米の定期便が好評なふるさと納税

あり、過去3年間の平均に對して、前年度1年分の上昇率を算定し、上昇分を交付している。交付後のさらなる経費の増加に対しては、安定的な運営が可能となるよう態勢を整えたい。

〔委員〕 スクールバスについて直営から委託方式に変更したが、前年度と比較して全面や経費はどう変化したか。

〔委員〕 配食回数制限を見直すべきでないか。以前は3食体制時と利用者数と比較したとき、コスト的には少額のコストでニーズに答えることができるかと判断するが。

〔答弁〕 単にコストの問題だけでなく、事業制度本来の趣旨を踏まえ見直しを行ったもので、今後も本事業が趣旨に沿っているかどうかを見極めながら、より良い制度となるよう努める。

〔委員〕 4年度の敬老式は3年ぶりに食事なしで開催されたが、参加者には大変喜ばれ、「来年また会いたまう」と期待して終了した。市はどのように評価したか。

〔答弁〕 このたびの評価として注目した点は参加率で、コロナ禍以前から2割台と低調であったが、3年ぶりに開催した4年度も1割程度であり、昨年10月に実施したアンケート調査の結果にも表れ、市が主催する式典



分科会ごとの市長に対する総括質疑

も新敬老の方々をはじめ、対象となる方々の価値観と合わなくなったと分析し、令和5年度から市主催の式典を廃止した。

委員 市と病院と連携して、どのように経営改善に取り組んでいるか。

答弁 開院時から病院と市で運営協議会を立ち上げ、経営改善、様々な体質改善、サービスの向上などを一緒に、市民からの指摘も伝えながら改善するように努めている。

産業建設分科会

委員 クマの出没情報が連日のように報道され、当市でも被害が増大している。令和4年度決算では、新規狩猟免許取得者が7名増えているが、猟友会の補助金は前年同額の60万円であった。国や県、猟友会とさらに連携し、十分な対策を考えるべきだ。

答弁 クマ対策については、防災ラジオによる注意喚起をはじめ、市広報での情報提供、箱罠による捕獲活動で駆除している。今後も年間を通じた取組みにより個体数の調整がなされるよう、県や国に要望する。

委員 森吉山荘について、地元の要望や議会決議、そして、将来の国立・国定公園昇格後の集団施設地区となり得る場所であることから早期に再開すべきである。

答弁 今年度に入ってから個別に事業者からの聞き取りも行い、早期再募集に向



休館が続く森吉山荘

け取り組んできた。引き続き、アンケート調査等による提言を参考にしながら、無償譲渡に係る条件を再度整理したうえで、年内の再募集に向け進めていく。

委員 下水道事業は設備の老朽化等もあり、現在の状況であれば使用料の値上げをせざるを得ない時期が来ると思うが、早めに周知をお願いしたい。

答弁 使用料について、令和6年10月1日の改定に向け審議会を開催し協議している。

【本会議・最終日】

決算特別委員長の審査報告

委員長 長崎 克彦

本委員会に付託された事件は20件でありました。9月5日に決算特別委員会を設置し、総務文教分科会10件、市民福祉分科会9件、産業建設分科会3件について、9月14日、15日の2日間で審査を行い、9月27日に市長に対する総括質疑を実施しました。その審査の経過と結果についてご報告いたします。

会一致で認定すべきものと決しました。

認定第18号「令和4年度病院事業会計決算の認定について」、市民病院の負担金で基本協定に関わる審査についての質疑があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第19号と第20号の2件の事業会計については、全会一致で認定すべきものと決しました。

認定第1号「令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定について」、基金や市債についての審査状況についての質疑があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第2号から認定第17号までの16件の特別会計については、すべて全



活かそう市民の声

市政を問う! 一般質問

一般質問は、9月7日・8日の2日間で行われ、9人の議員が登壇しました。

久留嶋 範子 議員 (P8)

- ◆介護予防・日常生活支援事業について
- ◆薪ストーブ設置費補助金について

福岡 由巳 議員 (P9)

- ◆「憩の森」の今後について
- ◆森吉山県立自然公園の国立・国定公園昇格の推進について
- ◆森吉山荘の早期再開に向けて
- ◆林岱の教職員住宅について
- ◆北秋田市文化遺産について

中嶋 洋子 議員 (P9)

- ◆放課後児童健全育成事業について
- ◆市の花・アジサイの普及について

佐々木 正史 議員 (P10)

- ◆DX推進について
- ◆阿仁水無地区の流雪溝について

虻川 敬 議員 (P10)

- ◆観光振興について
- ◆鷹ノ巣駅前の環境美化整備について
- ◆法定外公共物について
- ◆各行事に対する補助金の在り方について
- ◆政令・省令の変更に伴う業務について
- ◆撤去された元町跨線橋について
- ◆物価高と市民生活について

福田 牧子 議員 (P11)

- ◆子育て支援、保育について
- ◆スポーツ教育について

板垣 淳 議員 (P11)

- ◆敬老式について
- ◆生成AIについて
- ◆マイナンバーカードについて

杉淵 一弘 議員 (P12)

- ◆ドローンの利活用について
- ◆庁舎内における女性活躍推進について
- ◆鷹巣陸上競技場について

三浦 倫美 議員 (P12)

- ◆7月の大雨災害について
- ◆農業支援策について

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



介護予防・日常生活支援策について

Q 高齢化が進むなかで、支援が必要であっても介護保険制度や障害者支援制度などの国の制度で対象とならない市民への支援策について伺う。高齢者一人ひとりの暮らしの選択肢や生活のニーズは多様になっている。高齢者の元気を地域に活かし、生きがいをより高める仕組みづくりが求められる。介護を必要とするまでは至っていないが、その手前で様々な支援や援助があればと願う声を聞く。補聴器、車いす、IHコンロなど日常生活を支援する目的に用具の購入、修理費用の一部を助成できないか。

A 市では要介護認定や障害者認定の対象とならない高齢者等への支援制度は現状、設けていない。近隣の自治体では日常生活用具の購

入を一部助成している事例がある。事務効果などを調査、研究していきたい。

Q 近年、森林環境保全やバイオマスエネルギーの利用拡大の一環として、薪ストーブ、ボイラーの購入施工費用を助成する自治体が増えている。当市での考えについて。

A 市は豊富な森林資源を有することから、薪ストーブなどの使用で森林資源の有効活用や二酸化炭素排出抑制に高い効果が見込まれる。有効性は増していくと認識している。市の環境基本計画に定める循環型社会の推進や地域のカーボンニュートラルを目指す施策の一つとして助成制度導入へ検討を行っていく。



薪ストーブの購入施工費用に助成を

福岡 由巳 議員

(無会派)



市は憩の森を
放棄地にするな

Q 「憩の森」の調査結果は。

A 歩道、東屋、展望台は老朽化が激しい。誕生の森は確認できず。ハイランド体育館、ハイランドハウスは利用不能。緑地広場は利用中などである。

Q 展望台など除却すべき施設とのことであるが、当局が合併以降、調査を怠ってきたからではないか。

A 合併後、現地確認をほとんど行っていないかと思う。もう少し目配りしておけばよかったと思う。

Q 市主催の「国立・国定公園化キックオフシンポジウム」は参加者に意見を求めることもなく一方的な話で終わった。講演会やセミナーでも、この類の集会では参加者から質問・意見を受けるのは常識である。市民の意見を聞くため再

度開催すべきでないか。

A 環境省は「調査していない段階で具体的に示す情報はあまりない」とのことです。シンポジウムの再開催は考えていません。

Q 北秋田市として森吉山の国立・国定公園化に向けた計画書はあるのか。なければ必要でないか。

A 今後、環境省などから色々情報が入るので、それを地域の方々に提供しながら意見を聞く形で動ければと思っています。

Q 森吉山荘は温泉水の確保ができない。館内の傷みがひどい。応募者がいない。このままでは休館どころか廃止となるのではないか。

A アンケート調査結果を基に見直しを行っているところで、再度、募集に向けて進めていきたい。



シンポジウムで発言できず

中嶋 洋子 議員

(清明会)



放課後児童クラブ
での昼食提供は

Q 放課後児童クラブ（学童保育）での昼食提供に具体的な取組みをする考えはあるか。

A 保護者等から昼食提供に対する要望や経済的な事情で持参できないという声はなかった。弁当持参も負担になるという声は寄せられていない。こども家庭庁は実施自治体の事例を公表し、長期休業中に学校給食センターを利用した昼食提供を実施している自治体も

あったが、長期休業中の利用者は日々変化し、当日にキャンセルする場合も想定され、鷹巣地区から大阿仁地区まで広範囲にわたる配送等を鑑みると、市直営または民間委託でも総合的な検討が必要だ。支援員に電話で確認したとのことだが、保護者に聞くべきではな

かったのか。

A 保護者へのアンケートは、昼食提供を市でどのような形でできるか検討し、ニーズ調査、それから実際にできるかどうか併せた形で実施したい。

Q 要望がないのではなく、言えない環境があるのではないか。必要な人に必要な支援が届く制度設計を。こども家庭庁も全国の自治体に検討を促しているが。

A 提言を参考に検討していく。

Q 市の花・アジサイの普及。鷹巣中央公園の「あじさいの丘」に案内板設置を。ポリポットにアジサイの挿し木をし、住民が美しい花を育てる事業を計画してはどうか。

A 公園の景観にも配慮し判断する。挿し木について関係団体と協議する。



鷹巣中央公園あじさいの丘

佐々木 正史 議員

(清明会)



阿仁水無地区の
流雪溝について

Q 阿仁水無地区の流雪溝について、
渇水期に使用不能となった場合の
対策と根本的な改善策は考えてい
るか。

A 秋田県の許可を頂き、12月頃を
目途に取水口付近の河床整備を行
い必要な水位を確保する。根本的
な改善に向けては、河床低下防止
策として堰堤を構築し、親水公園
としての利活用を含めて秋田県と
協議する。

Q 「北秋田市DX推進本部」が進
めているDXの最終的なビジョン
と進捗状況は。また、「デジタル
田園都市構想」に応募したか。

A ビジョンについては、デジタル
技術を社会に浸透させ、市民個々
が豊さを感じられるよう市民に寄



渇水状態の取水口と阿仁川

り添ったデジタル化を進める。自
治体情報システムの標準化やマイ
ナカード普及促進、セキュリティ
対策の徹底は現在進行中である。
地域デジタル基盤活用推進事業は、
デジタル技術を活用した地域課題
の解決に向けた支援事業であるが、
庁内で地域課題を抽出する場を設
けていなかったため応募に至って
いない。今後は、民間の力を借り
ながら、出来るだけスピーディーに
北秋田が取り残されないよう進め
る。

虻川 敬 議員

(新創会)



当市の観光振興の現状

Q 伊勢堂岱遺跡関連の集客状況は、
経済効果はどう把握し、数値管理
しているか。

A 4月から7月までの来場者数は
アフターコロナで流れが変わり、
今年度より1368人減の630
0人である。縄文館ショップ以外
での経済効果は具体的な数値は把
握していない。

Q 来場動機に繋がるようXR事業
はVR、ゴーグル等を用い、さらに
充実させるべきでは。

A 人員の確保や対応について、現
場で限界があるので見送る。

Q 森吉山エリアの国立・国定公園
化について、市民や地域諸団体等
との意見交換会を行うべきではな
いか。

A 現時点では考えていない。

Q 道の駅たかのすの今後の進捗は。
A 関係各所と慎重に協議を重ね、
利用ニーズや対応年数を踏まえ、
大太鼓の館等の既存施設の修繕を
含めた段階的な整備や集客力向上
を図る整備の在り方の検討に着手
する。

Q 大型の宿泊施設の誘致について、
市としての必要性の見解は。

A 民間事業者による新たな宿泊設
置の誘致については、前向きに取
り組んでゆく。

Q 観光都市宣言をして本腰を入れ
て観光都市づくりをしては。

A その効果を含め今後研究する。

Q 鷹ノ巣駅前の環境整備を。

A 市が新たに駅前に施設の建設を
することは考えていない。地域住
民の利便性向上に寄与する公共性
の高い施設でもあることから、老
朽化や安全を確保する修繕につい
ては、商店会、商工会等と連携し
て課題解決を図りたいと考えてい
る。



観光地として認知されるか

福田 牧子 議員

(公明党)



子育て支援の
具体的対応を

Q 母親の育児休業中の第一子(二子)の保育時間が短時間(8時間)となっているため、首の座らない第三子をお迎えに連れていかねばいけない状況。上の子たちも保育園で過ごす時間が通常と違うことに戸惑っている。それぞれの家庭の状況にあわせて、標準時間(11時間)での保育時間が提供できないか。

A 窓口対応でも同様の事案があり、保育時間を見直す必要があると考えている。各保育施設の受け入れ態勢等の整備を図り、10月1日より保育時間を標準時間に変更できるように準備を進める。地域の実情を把握し、柔軟で迅速な対応に努める。

Q 夏休みなど長期休暇中の中学生

の運動クラブ活動の通学支援が必要ではないか。長期休暇中はスクールバスが毎日はない。路線バスがなく、毎日の家族の送迎が困難な家庭もある。生涯にわたっての心身の健康増進の育成に必要な教育であるとの視点から、学校や市町村教育委員会は運営に係る体制を構築することが求められているが、いかがか。

A 北秋田市学校部活動及び新たな地域クラブ活動検討委員会において、部活動の地域以降について協議するなかで、移動手段としてスクールバス等の活用について検討していきたい。環境整備について後押ししていきたい。



きたあきた こども・子育てガイド

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



敬老式の復活を

Q 市は今年から敬老式を廃止したが、高齢者を敬う福祉の気持ちがあるのであれば復活すべきでないか。

A ①参加率が少ない、②運営する婦人会が困難、などの理由で実施しない。

Q ①参加率が少ないというが、ならばどうやって増やすかを考えるのが行政の仕事ではないのか。ちなみに昨年の参加者は830人もいた。成人式は150人だった。②婦人会が困難というが、旧4町どこの婦人会も高齢者を敬い、この地域を創ってきた先輩に感謝と恩返しので気持ちで運営してきた。それは今も何ら変わっていない。「やめる」ことを決めたのは市。婦人会のせいにしてほしくない。

こんな理由をあげて廃止を正当化するのではなく、もし、市長に高齢者を敬う気持ち、福祉の気持ちがあるのであれば敬老式は再開すべきだ。

A 廃止するが、その後の推移は見届けたい。

Q 市の業務で生成AI・イコール人工知能の活用は是・非をどう考えているか。

A 業務は効率化するが、個人情報取扱いや回答の真偽がまだ不確定。活用については精査、検討したい。

Q マイナ保険証のトラブルが続出している。政府に現行保険証廃止の撤回または延期を求めるべきと思うが。

A 全国知事会が国に要請した。



昨年の敬老式の様子

杉 淵 一 弘 議員

(新創会)



ドローンによる
橋梁点検実施を

Q ドローンを活用して橋梁点検を職員が定期点検できないか。

A 橋梁の定期点検は、5年以内に1回実施することが法定義務となっており、その結果は国への報告及び市ホームページ等での公表が義務となっている。定期点検は重要な点検となっていることから、近接での目視点検が基本とされており、専門知識や客観性が求められることから、現在、業務委託している。職員によるドローンを使用した点検は、今後の国・県の情報に注視しながら前向きに検討していく。

Q 庁舎内における女性活躍推進について、女性職員の管理職登用と人材育成及び職場づくりは。

A 女性管理職の状況は、令和5年

4月1日現在で係長級以上の職員が20人で、管理職に占める割合は18・5%となっている。また、女性職員の人材育成と職場づくりでは、これまで女性職員を対象とした意見交換会、外部講師を招いた女性職員向けキャリアアップ研修会を開催してきた。今後は各種研修会への参加を通して、将来的な女性管理職の登用に向け取り組んでいく。

Q 鷹巣陸上競技場の写真判定カメラ更新は。

A 本年7月下旬に故障しメーカーに修理依頼したが、型式が古く、部品が販売終了とのことであったものの、メーカーから同等の機器を借りることができた。次年度に向け、代替機器の導入を検討する。



点検は業者委託から職員で

三 浦 倫 美 議員

(日本共産党議員団)



7月大雨災害の対応と
農業支援策は

Q 小阿仁川河川改修、県に要望を引続き、小阿仁川水系対策委員会や地元自治会と連携し要望する。

Q 避難状況の把握と今後の教訓は。

A 市は気象庁や県の雨量、河川水位等の情報を基に避難情報を発令。小阿仁川流域への避難指示発令前に各自治会長へ連絡し避難を呼びかけ、地域での声掛け等共助活動が早期避難につながった。引き続き、市広報や出前講座等で周知啓発、自主防災組織育成強化に取り組む。

Q 冠水道路移動の危険性周知を。情報提供し、周知・啓発を図る。

Q 床下浸水被害にも見舞金検討を。今後の検討として考えたい。

Q 農地・農業用施設等への復旧支

援強化を。営農継続が窮地である。

A 用排水路確保の重機や水中ポンプ等機械借上げに市単独100%補助「農業用施設緊急支援事業」を実施。農地・農業用施設92件に国の「農地・農業用施設災害復旧事業」、県の「農地・農業用施設小災害支援事業」を活用し、農家負担軽減、営農継続、再開支援に取り組む。

Q 燃料費、肥料代等高騰や激変する国の農政に「農家を生かさず殺さずの農政だ」と苦悩の声がある。「水田活用交付金見直し」は中止するよう国に強く要望すべき。

A 国は「肥料価格高騰対策事業」、「燃料価格激変緩和補助金」を実施。市独自で全ての水稻種子購入費2分の1助成など16項目の支援事業を実施。県市長会や県と連携して国に要望し、水田への水張りルール解釈が一部緩和。今後も対策に取り組む。



冠水道路の危険性の周知を

森吉エリア国立・国定公園化

推進議員連盟を設立

森吉エリアを国立・国定公園へ

9月29日、北秋田市議会森吉エリア国立・国定公園化推進議員連盟が設立されました。

本連盟は、森吉エリアを国立・国定公園へと昇格させるための活動を目的とし、議員17名で構成されています。

森吉山を含む八幡平周辺が、令和4年6月に環境省が公表した国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地に選定されたことを受け、森吉エリアの国立・国定公園化に向けての活動を推進すべく、設立に至りました。

29日に行われた設立総会では、初めに、設立趣意の説明と役員を選出が行われました。その後、「関係機関との連携を図り環境省への要望活動の実施」、「市民・地域諸団体との意見交換会などへの参加」などを盛り込んだ事業計画案や予算案が提案され、全会一致で承認されました。



【本連盟の役員】

会長	堀部 壽
副会長	中嶋 洋子
事務局長	虻川 敬
幹事	小笠原 寿
	佐藤 重光
	杉淵 一弘
	福岡 由巳
	佐々木 正史
	久留嶋 範子
監事	

所管事務調査報告

議会運営委員会

羽村市、国立市を視察研修

調査項目

- ▽予算決算特別委員会について
- ▽一般質問の実施について

議会運営委員会では、7月27日に東京都羽村市で、28日には当市と友好交流都市となっている東京都国立市で、予算決算特別委員会の設置運営について、また、一般質問の実施について所管事務調査を実施しました。

これらの進め方については、各自治体様々な進め方があります。予算決算委員会については両市とも、予算審査特別委員会は議長を除く全員、決算審査特別委員会は議長及び議会選出監査委員を除く全員で構成すること。国立市では決算特別委員会は定例会外に実施され、12月議会にて結審されることでした。当市では各常任委員会所管の案件を分科会方式にて審査しておりますが、両市ではほぼ議員全員で審査に当たっているため、より深い審査ができると感じました。



友好交流都市の国立市で学ぶ

一般質問については、両市とも毎回ほぼ全員の議員が一般質問をしており、当市と比べ、熱量の違いを感じました。手法について、羽村市では壇上で質問をし、再質問は自席にて行い、国立市では1問目の質問のみ壇上で行い、2問目以降は自席で着座にて行っていることでした。時間はいずれの市も答弁あわせて1人60分とのことでした。その他、コロナ禍で感染防止の観点から議会運営において運営方法を柔軟に変更修正しながら運営しているとのこと。コロナが落ち着いてきた昨今においても良き進め方は据え置き、戻す部分は戻すといった取組みをしているとの説明を受け、有意義な情報を得ることが出来ました。

両市の取り組みを参考に当議会でも更なる議会改革へと取り組んでいきます。

(文責者…委員長 虻川 敬)

議会の動き

<7月16日～10月15日>

7月

- 18日・秋田県北部市議会連絡協議会正副議長・事務局長会議
- 19日・広報特別委員会
- 20日・秋田県市議会議長会定例会
- 24日・秋田県北部地域夏期合同要望活動
- 26日・秋田県市議会議長会県選出国會議員への実行運動
- 27日・議会運営委員会所管事務調査（～29日）

8月

- 2日・秋田県北部地域夏期合同要望活動（中央）
- 7日・市民福祉常任委員会所管事務調査
 - ・小阿仁川水系対策委員会総会
- 9日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 10日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 22日・産業建設常任委員会所管事務調査
- 24日・議会運営委員会
- 28日・議会運営委員会
- 31日・小阿仁川水系対策委員会小阿仁川流況調査

9月

- 5日・9月定例会（初日）
 - ・決算特別委員会全体会
 - ・広報特別委員会
- 7日・本会議 一般質問①
 - ・議会運営委員会
- 8日・本会議 一般質問②
- 11日・総務文教常任委員会
 - ・市民福祉常任委員会
 - ・産業建設常任委員会
- 14日～15日
 - ・決算特別委員会分科会
 - └ 総務文教分科会
 - └ 市民福祉分科会
 - └ 産業建設分科会
- 25日・決算特別委員会各分科会
- 27日・決算特別委員会全体会
- 29日・9月定例会（最終日）
 - ・議会運営委員会

10月

- 3日・国道整備促進期成同盟会合同要望
- 11日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会10月定例会
- 13日・広報特別委員会
 - ・秋田県北部地域秋季合同要望活動

議会報告会 を開催します

参加の申込みは不要です

開かれた議会及び議会活性化を推進するため、議会報告会を開催し、議会の活動状況をはじめ、特に議論となりました話題などについて報告します。

参加の申込みは必要ございませんので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

※昨年と場所が変更している地区がありますので、ご確認ください。

テーマは、「人口減少」と「空き家問題」

A班

<班長>三浦倫美

<班員>福田牧子/虻川 敬/長崎克彦

合川地区

[日時] 11月12日(日) 10時～12時

[場所] 三木田多目的集会施設

B班

<班長>永井昌孝

<班員>杉淵一弘/中嶋洋子/板垣 淳

森吉地区

[日時] 11月12日(日) 10時～12時

[場所] 森吉公民館

C班

<班長>佐藤文信

<班員>佐々木正史/久留嶋範子/小笠原 寿

阿仁地区

[日時] 11月12日(日) 10時～12時

[場所] 阿仁山村開発センター

D班

<班長>佐藤重光

<班員>松橋久敏/福岡由巳/五代儀義富

鷹巣地区

[日時] 11月12日(日) 10時～12時

[場所] 市民ふれあいプラザ コムコム

議会の傍聴してみませんか

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださるようお願いしています。

広報特別委員会

- 委員長 五代儀義富
- 副委員長 福岡由巳
- 委員 佐々木正史
- 委員 久留嶋範子
- 委員 中嶋洋子
- 委員 佐藤文信